



## 丸山台と本郷が金賞

18日 3チームが県大会へ



丸山台中吹奏楽部のメンバー

横浜吹奏楽連盟が主催する「横浜アンサンブルコンテスト」がこのほど磯子公会堂で行われ、港南区の丸山台中学校と栄区の本郷中学校から出場した各2チームが金賞を受賞した。うち3チームは、12月18日(日)に行われる県大会への出場権を手にし、さらなる活躍が期待される。

「悔しさ晴らす」

丸山台中吹奏楽部は過去、東関東大会で金賞に輝いた経験も持つ。現在の部員は41人。

同大会は小学生から高校生までの学校・団体を対象に、各2チームまで参加が可能。チームは3人から8人までのメンバーで構成され、中学校の部には143チームが出場した。この内、県大会に出場できるのは金賞を受賞した43チーム中の14チームと、狭き門となっている。

丸山台には金管打楽器八重奏と木管打楽器八重奏の2チームが出場。金管チームは「ジャイアントキリング」、木管チームは「ゆめのかけら」それぞれ演奏。前者はつらつとした勢いのある曲調、後者はリズム感のある緻密な構成が各グループの雰囲気合致していることから選曲されたという。

も金賞を受賞したが、木管打楽器チームは惜しくも県大会出場を逃した。顧問の和田樹さんは大会を振り返り「悔いの残る演奏だった。次はやりきったと思える演奏をしてほしい」と激励した。

金管、木管で出場

本郷中吹奏楽部も、過去に全日本アンサンブルコンテストで金賞を獲得した経験を持つ強豪だ。現在の部員は34人。今大会に出場した金管八重奏と木管八重奏の両チームが金賞に選ばれ、県大会への出場権も獲得した。



本郷中吹奏楽部木管八重奏(左)と金管八重奏のメンバー

国大会を見据え、難易度の高い曲に挑戦した」と選曲理由を語り、「県大会の壁は厚いが、自分たちで音楽を作る楽しさを大事にして演奏してほしい」と思いを述べた。

部長の風間瑛仁さんは「金管も木管も8人の仲間、最高の音楽を作って全国を目指す」と力強く話した。

県大会は18日(日)、茅ヶ崎市民文化会館大ホールで行われる。

### 矯正Q&A

#### クリニックの選び方

たいらく矯正歯科に聞く

「来年は歯列矯正を」と検討中という人も多く、悩ましいのはクリニック選び。そこで「たいらく矯正歯科」の平久忠輝院長に話を聞いた。歯科医院は数多くあります。ポイントは、「矯正は極めて専門性が高い治療の上、2〜3年前提示や、相談者の症状に適した矯正装置を提案してくれる医院です。適応範囲が狭いマウスピース矯正を安易に勧めてくるケースは注意を。専門医院のカウンセリングを受けてほしいですね」



「お気軽に相談を」

**東戸塚 たいらく矯正歯科**  
Tairaku Orthodontic Office  
TEL: 045-828-4118  
診療時間: (予約制) 平日 10:00~19:00  
休診: 月・木・祝日 土・日 10:00~18:00  
土・日曜も診療しています

**女性顔そり 「神コスパ」の理髪店**  
ミオカそば エステ、パッケも  
上大岡駅前の商業施設・ミオカ近くの理髪店「ミオカカット」のメニューに女性顔そり(1800円)が登場した。エステ、パッケ付きでも2500円という価格に、コストパフォーマンスが「神つる」と話題で、女性理髪師が対応。同店は「低価格で高級」

**大船中央病院に聞く この冬すべき感染対策**  
新型コロナ、インフルエンザの同時流行懸念  
森岡深雪 看護師

社会医療法人財団互恵会  
**大船中央病院**  
TEL: 0467(45)2111(代)

大船中央病院に聞く  
**この冬すべき感染対策**  
新型コロナ、インフルエンザの同時流行懸念

受けて、資格を取得。専門分野での実践的活動やコンサルテーション(相談)、教育、自己研鑽の継続が求められる。

森岡看護師は、「コロナの時代になって、感染管理認定看護師の果たすべき役割や責任の重さを日々実感しています」と話す。感染対策チームを中心に多くの職種が協働し、病院内での感染を防ぐための活動に取り組んでいる。「その対象は患者さん、ご家族、訪問者、医療従事者など全ての人です」(森岡看護師)。

またコロナ禍においては、地域の医療機関と連携し、感染防止のための訓練を実施。院内外からの相談にのじたり、ケアの質向上に向けた様々な取り組みを行っている。

**基本的な予防から**  
この冬は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念される。感染した人の咳やくしゃみ、会話をしている時に排出される「ウイルス」を含んだ大小の粒子が主な感染経路となる。新型コロナウイルスは症状が出る前から人に感染させることがあり、「インフルエンザと異なり、発症前後が最も感染力が強いと考えられます」(森岡看護師)。

森岡看護師によると、

①マスク着用は、これを通り基本的な感染対策として重要。  
②こまめな手洗い(帰時や調理、食事前等)  
③飲酒を伴う懇親会など、大人数や長時間に及ぶ飲食、マスクなしの会話は、感染リスクを高めるため注意が必要。  
④発熱がなく咳や鼻水などの軽症だけでも感している場合があり、調が悪い時は不要不急外出を控える。

冬季は、ノロウイルスにも注意が必要。「感染力が強く、特に嘔吐物や処理する際には、マスク、手袋をつけて処理しましょう」(森岡看護師)。また、流水と石鹸で手洗いをした後、アルコールで手指消毒することを推奨している。

「うつらないため、つさないため」に一人一人が感染対策を続けることが大切だ。